

平成 28 年度鶴岡市立図書館協議会 会議録

○日 時 平成 28 年 10 月 6 日(木) 午後 1 時 30 分～

○会 場 鶴岡市立図書館本館講座室

○出席委員 樋渡美智子委員長 笹山一夫委員 井上裕子委員
三浦洋介委員 村山正憲委員 安藤幸子委員
鈴木邦委員 伊藤克弘委員 鈴木和子委員

○職 員 館長：佐藤 巖 社会教育課主幹：佐藤 尚子
主査：新宮 久美 図書専門員：船岡 里佳

○公開・非公開の別 公開

1. 開 会

2. あいさつ 館 長

3. 協 議

(1) 平成 27 年度図書館事業報告（要覧 p 9～p 22） 主 査
事業内容や実動数・参加者等を報告

(2) 平成 28 年度図書館重点施策と主要事業について（要覧 p 23～p 27）
主 査

(3) 鶴岡市子ども読書活動推進計画について 館 長

4. その他

(1) 北日本図書館大会山形大会・山形県図書館研究大会について
開催月日：平成 28 年 6 月 23 日(木)
会場：山形県生涯学習センター「遊学館」

質 疑

(1) 平成27年度図書館事業報告について

(委 員) 図書館の100周年の企画ですけれども大変素晴らしかった。私も参加いたしましたが大変面白かったし、ありがたかった。

阿刀田高さんの講演会、たいへんよかったです。会場の都合もあったかと思いますが250人は少し残念だったかなと思います。

佐藤賢一さんトークショーも大変良かったです。森敦展もよかったです。思い出のある事業にさせていただいてありがとうございました。

(委 員) 今年も子どもたちが図書館を利用させていただきありがとうございました。限られた園の本だけでなく、図書館を利用させてもらうことによって、物語だけでなく自分たちの身近にある花の種を調べたりと読書の枠を広げて、本探しをしています。また借りた本を介して子どもたち同士で見せ合ったり、読書が一層広がって、大変感謝しております。可能な限り直接来て、いろんな形につなげていければと思っております。いつもありがとうございます。

(委員長) ありがとうございます。重点施策の参考にもなりますのでもう少し伺います。

(委 員) 私たちのサークルは高齢者施設に伺って、対面朗読や紙芝居などの読み聞かせをしています。なかなか大人向けの紙芝居がなく、出版社に問い合わせしてみたりしましたが、図書館にあるものは子供向けのものになり、年齢の高い人向けの紙芝居などの充実を願います。

話は離れますが、落語などは何度聞いてもいいものです、それと同じように紙芝居も上手になれば繰り返し読み聞かせしています。毎回、読んだものやエピソードを記録していますが半年ぐらいで繰り返しもあります。(私たちの)語りを聞く人が年間1500人位になります。手がればもっと来てほしいという施設もあります。図書館に来れなくても、このようなかたちで、話を聞いたりお話を堪能したりこともできます。また、そういう施設に対するニーズは、子どもさんたちとは違った課題があるのではないのでしょうか。

(委員長) 温海はいかがですか。

(委 員) 温海でも読み聞かせを年4回、おはなし会も1か所でも2か所でも、少しずつ増やしいこうと活動しています。また、地域の施設にも出向いて、私個人では(旧市ある)かたぐるまなど地域の垣根を超えて行っているところです。

学校が統廃合になって移動図書館場所が減ったのではないかと感じていましたが、小学校が減った分、保育園に出向いたり充分利用できるようにな

っているんだなと思いましたが、先ほどもありましたように図書館や巡回場所に来ることも大変な方たちには、たとえば公民館単位で団体貸出等で、大活字本などを置いてそこから借りることができたらありがたいと思います。

また話は変わりますが、要覧の統計の年度推移が様々な表がありますので、統一していただければと思いました。

(2) 平成 28 年度図書館重点施策と主要事業について

(委員長) それでは、平成 28 年度図書館重点施策と主要事業についてですが。

(委員) 統廃合によりなくなる学校の図書館があります。とても立派で蔵書も貴重なものもありますし、あれはどうなるんだろうと、地域の方たちと話す機会がありまして気になるところです。合併した小学校にもっていくのが基本だけれども、全部ではないと聞いておりますが、地域のコミュニティとして活用できればいいのですが。管轄が学校にあるということでなかなか簡単にはいかないかと思いますが、本はどうなるんだろうと気になっています。

(委員) ブックスタート事業ということで「読書の種まき」ということで行っておりますが、乳幼児に絵本を 1 冊あげているとても小さなことではありますけれども、育てているのではないかと感じています。私たちも、施設(高齢者)での読み聞かせをしていますが、先ほどもわらしべの会の皆さんと同じように本を選ぶのが難しいなと感じています。そういう読み聞かせという種まきをしている人向けに、図書館で研修会を企画してくれるというのは本当にありがたいなと思っています。種まきの一環で楡引図書館事業にて「ぬいぐるみのお泊り会」を行っておりますけれども、なかなか PR が難しくて……。

(委員) どのような会なんですか。

(委員) おはなし会に事前に、自分のお気に入りのぬいぐるみを持ってきて、そのぬいぐるみが選んだという設定で子どもたちがその本を借りていく。お母さん方にエピソードを聞いて、子どもが好きなもの、お母さんが好きなものに合わせて本を選本しています。アメリカで始まった事業のようです。楡引で三年前からやっているんですけれども、なかなか広く周知するのが難しいようです。

今年は「こしゃってマルシェ」に自分たちで作ったポスターを貼ってもらいました。私たちもこうして小さな種まきを一人一人が頑張っていて、また皆さんもこうしてがんばっているんだなと実感しました。

(委員) そのほかの話になるんですけど、朝日中学校が新しくなったとき、校長先生の話のなかに、建て替えの話が出て10年、その後子どもが減ってとありました。極めて高齢化になっている中でそれにしてはがんばっているなと思います。

(委員長) 子どもたちもやることがいっぱいですしね。

(3) 鶴岡市子ども読書活動推進計画について

(委員長) 大変難しいですね。「一人ひとりのニーズに応じた図書情報の収集、提供」とありますが、これを考えると大変なことになる。

(図書館の) 働いている人を見ると職員がずいぶん変わっている。その人たちの教育もしていかなければならない。職員の方は市から派遣されているのですか？臨時ですか？

(館長) 現在職員は全部で18人います。そのうち職員は私含め9名、他は臨時職員、パート職員がおります。通常、夜の七時までの勤務になりますので時間をずらして交代で勤務しております。各分館も長期任用の嘱託とパート職員とおります。各分館開館時間が違いますし、温海とは羽黒は月曜日も開館しておりますし、そのような絡みもありまして非常に変則的な勤務になっております。

私からも、子ども読書活動推進計画についてお話させていただきます。

平成27年4月1日から平成31年3月31日まで5年間で、子どもの読書環境を整備していきましょう、数値目標だけでは表せないのですが、成果を出しましょう、という取り組みになっております。

平成27年度は情報収集、どんな団体が、どんな活動をしているか、何が困り事なのか情報収集をいたしました。そしてまずYA(ヤングアダルト)コーナーの設置いたしました。社会教育委員会会議の中でヤングアダルトという表現が、子どもたちになじまないのではないかというご意見いただきまして、「青春の煌めき文庫」と名称を付けまして再整備いたしました。

各団体、コミセン、学校等約180団体、児童館とか様々ありますが、アンケート調査をいたしまして、読書活動している団体は29団体あるということがわかりました。これは学校のPTAなど含まれております。そのような団体が、どんな活動をして何が困っているか把握しております。

そして三番目として先ほどもありました「一人ひとりのニーズに応じた図書情報の収集、提供」これはですね、小中学校特別支援の子どもたちに有効な本ということで市内の小中学校に必要な本を挙げていただきました。107点ほどリストを挙げていただき、そのうち一部を平成27年度に購入しました。そして学校に団体貸出をするという、子ども読書の事業として学校図書の予算は限られておりますので、その本が果たしてその子に有効か、わからない訳ですので

先に試していただき、よければ学校で購入していただくという手法です。来年度も引き続き継続していきたいと思います。

(委員) 図書館にはアンケートとか意見箱とかありますか。

カウンターで皆さんに聞けばいいのですが、何か聞きたいこと・・・
例えば、短編小説で元気が出るような本ありませんかとか、うちの子なかなか本読まなくて困ってるんですけど・・・など紙に書いて、図書館の入り口にその返答が書いて貼ってある。いろんな人も見る事が出来るし、それを見てこんな本が面白かったよなんて答えてもらったり、少しは一人一人のニーズに応えられるかなと、そんなことができれば素敵だなと思います。情報のキャッチボールができればなあと思います。

(委員) やまびこ号なんかだと、この本ないかなーと子どもたちから声が出れば、次に持ってきてくださいますし、キャッチボールというお話ができましたけれども「やまびこ号」という意味も、帰ってくるということなのかなって今改めて思いました。

(委員) 保育園で、学校でこの本をほしいという丁寧にとくさんの本を用意してください。本当にありがたいです。市民の方たちも情報がもらえるといいですね。

(委員) 高校司書のコラボの展示が、すごく楽しくてよかったと思いました。高校生が作ってくれたクジがあったり、素敵な展示があったりよかったです。

私たち、小学校で読み聞かせをしているので、学校で使う国語の教科書があればいいのと思います。資料としても今どんな学習をしているのか、読み聞かせの題材としても参考になりますので。

(主査) 以前は教育委員会からいただいていたんですけども。中学生の教科書は今ございます。

(委員) 銀行に本が置いてあるって伺ったんですけど、それはどんな。

(館長) 荘内銀行温海支店のみ行っています。基本は銀行に団体貸出として貸している形です。直接手続きをお願いしているのではなく、借りたいという方がいたら隣にある分館にて手続きをしてもらうようになっております。

(委員) では、いろんな所に置くわけにはいかないですね

(館 長) 立地的に可能な荘内銀行温海支店さんをお願いしていますが、銀行サイドにどこまで広げていけるのか、検討していくことは可能かと思います。

(委 員) 来行したお客さんに読んでいただいたり、手に取っていただいたらすごくいいPRになるのでは。

(館 長) そうですね。銀行でも雑誌等々、準備しているのでそこが軽減できることと、こちらのPRになることと兼ね合いがありますけれども、こちらも貸出はできないのでの何かしらの新しい手法を考えなければならぬかと思います。

(委 員) ピッとすればいいからできるかと思いましたが、簡単にはいかないですね。

最近話題になっている「ひと箱古本屋」みたいにそういう感覚で、あちこちに本があるという街は、楽しいかなって思います。分館がありますけれども、旧市内にも分館的な場所があってもいいのかな。図書館まで行ったことがないって方もいるんですよ。

(館 長) 人の集まる場所に置くことができればいいのですが。

(委 員) 空き家対策とか、セントルとか今は何やってるんでしょうね。

(館 長) いまどのように活用するか模索中ですよ。

図書館分館という形もあろうかと思いますが、ただ本だけ置いておくというのも難しいかと思います。

(委 員) 今はやりのカフェ的な、やれ地域老人クラブが、婦人会がなくなったというので〇〇カフェなんて作っているところありますよね。そんなところもいいですよ。

(委員長) そのほか何か、山形県図書館研究大会に参加していかがでしたか。

(委 員) ここ毎年参加させていただいている研究大会では、複数の事例発表を聞くことができるのですけれども、利用者ファーストと、利用者をまず第一に考えているということを、どの方もおっしゃっていたのがとても特徴的でした。

最近の図書館が複合施設になってきていて、酒田も新しくそのような形になると伺っています。その中で鶴岡は、今後どのような形にしていけばいいのか。ただ、大きいとか小さいとか、新しいとか古いとかということではなくて、市民と職員の関係性がとても大事だなと感じました。利用者ファーストというのはそれに尽きるんだなと思いました。職員の正職員とか臨時職員とか関係なく教育が大切ですね。

(委員) ノーベル賞をもらった益川さんが幼少のころ、すぐ近くに図書館があって子どもの頃通った読書体験が、今現在につながっていった、役立ったとあったけれども利用者の垣根をどこまで低くするのか。本を読むのと喫茶店とセットにする図書館は、勉学に役立つことよりも喫茶店と同じような選択肢の一つとなる図書館が多くなってきている中、果たして益川さんのようなノーベル賞を取るような学者が育っていくのかと思うと、非常に複雑な思いがする。喫茶店とセットのスタイルが新しいトレンドで喫茶店の魅力でプラス本の形、本がメインでなくてもっと呼び集めるものが他かにある。最近の図書館大会での利用というテーマがそのプラスα一的なところが惹きつけるんだよということが強調されて、引き金は何でもいいのだけれども敷居を低くして利用してもらいなのかなと。

(委員) 1冊の本を選ぶ大事さ、1冊の本を提供する大事さ、ただ貸本屋ではなくてひとつの人生を提供するような役割があるのではないかと思います。そういう気持ちで今後も提供していただきたい図書館へのお願いです

(委員長) 皆さんの思いも同じかなと思います。社会教育課の方は何かありませんか。

(社会教育課) 図書館と一緒にやっている事業ブックスタートですけれども、7か月健診時に本を提供するという皆さんに喜ばれている事業ですけれども、小さい頃から本に親しむということが大事だと皆さんからもお聞きしておりますので長く継続していきたい、広く広げていけたらと思っております。

(委員長) 素晴らしい意見ありがとうございました。

図書館も大きな課題をいただきました。一長一短では、できないものですがけれどもよろしく願いいたします。

(主査) 長時間に渡り、貴重なご意見ありがとうございました。

この後、図書館大会のご案内をしておりましたが、今回は6月に終了しておりますので、また来年度どうぞよろしく願いいたします。